

第1期開園後の管理運営について ～利用に関する検討資料～

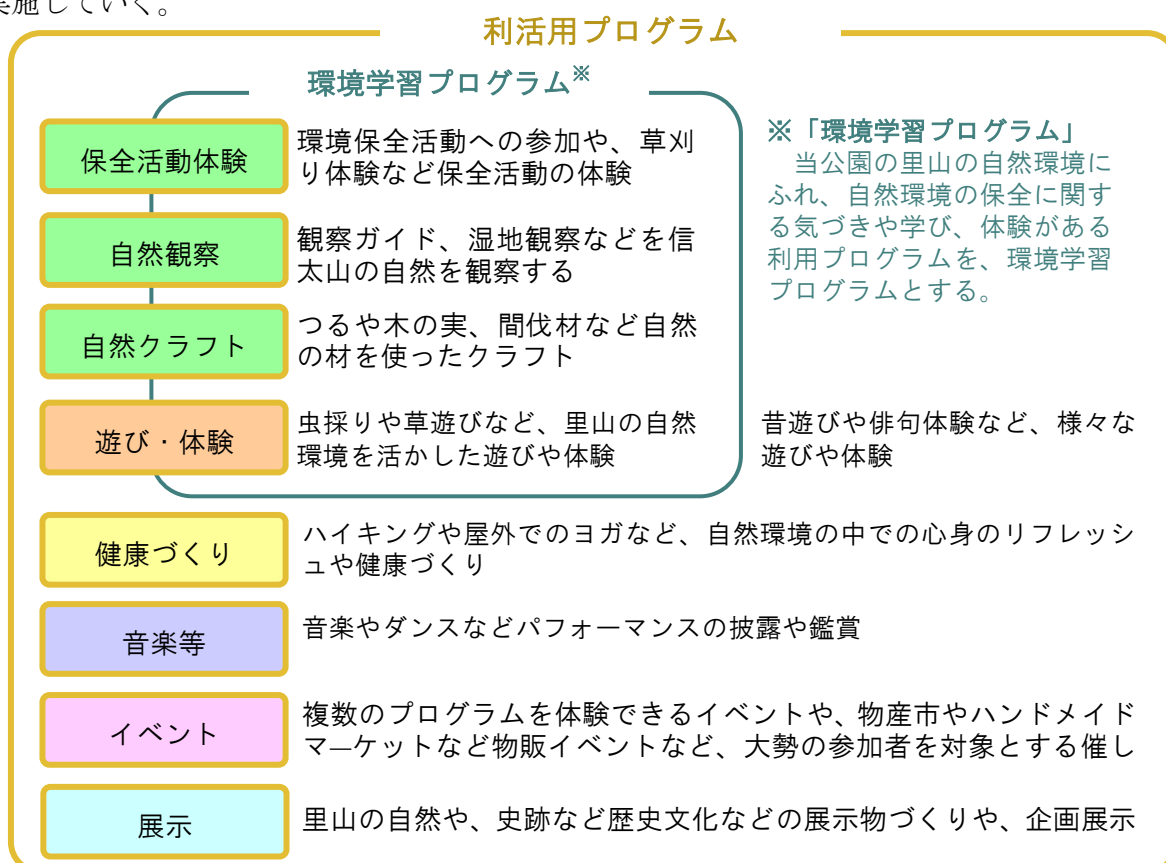
1. 利用の種類と開園に向けた検討事項

- ・第1期開園後に、信太山丘陵里山自然公園の様々な利用の種類が実現できるよう、自由利用に使えるセルフガイドツールや、持ち込みイベントの受入れ方法の検討などを進める。

利用の種類	自由利用	指定管理者が実施するイベント等	保全活動等の公民協働活動	NPO等による持ち込みイベント
実施主体		指定管理者	指定管理者	信太の森 FAN クラブや、いずみの国自然館クラブ、その他 NPO や市民グループ（指定管理者と共催）
参加対象者	公園利用者自身	公園利用者	協議会会員 公園利用者 小学校等環境学習プログラム利用者	団体会員 公園利用者
利用の内容	散策や外遊びなど	自然クラフトや体験など	環境保全活動など	観察会やクラフト体験など 利用の内容
第1期開園に向けた検討事項	セルフガイドツール（マップや掲示板）の検討	環境学習プログラムなど年間の利用プログラム開催数等の検討	指定管理者、協議会登録会員、ボランティア、行政との役割分担等の検討	持ち込みイベントの受入れ方法等の検討

2. 利用プログラムのバリエーション案

- ・「保全活動体験」や「自然観察」など里山の環境を活かした環境学習プログラムを実施していく。
- ・「健康づくり」や「イベント」など、市民の公園レクリエーションに応える多様な利用プログラムを実施していく。



3. 利用プログラムの策定・実施手順案

本公園の実態や特徴に適した利用プログラムをつくり実施していくため、指定管理者や NPO 等からの《利用プログラムの提案》に基づき指定管理者や NPO 等の実施主体が、利用プログラムの《計画策定》を行い、《試行・実施》し、利用プログラムの参加者アンケートやスタッフの振返りなどを行い《検証》し、利用プログラムの計画を《改善・更新》していくものとする。

必要に応じて、信太山丘陵里山自然公園協議会総会（年 1 回開催）に《報告・相談》し、利用プログラムがより本公園の特徴を活かした内容となり、自然環境保全と公園利用が両立できるよう、適宜《アドバイス》を行う。

【利用プログラムの策定・実施手順フロー案】

